

日本医療・病院管理学会／東海病院管理学研究会 共催

共同企画：日本福祉大学健康社会研究センター／厚生労働省「健康の社会的決定要因」研究（尾島）班

協力：WHO 神戸センター

国際シンポジウム

介護予防・健康政策マネジメントの新潮流－社会環境や格差への着目

数値目標を掲げた「健康日本 21」が 2010 年度で終了し、次期国民健康づくり運動プランの検討過程で、見直しの方向として「社会環境の質の向上」と「健康格差の縮小」が示されました。介護予防でもまちづくりが注目され、日本が提案した WHO 総会決議 2012 でも「健康や福祉の社会的決定要因」の重要性が指摘されています。その具体化とも言える「高齢者にやさしい街づくり (age friendly cities)」や「Urban HEART (Urban Health Equity Assessment and Response Tool, 都市における健康の公平性評価ツール)」などの動きが WHO 神戸センターで進められています。

本シンポジウムでは、ハーバード大学のカワチ教授、スブラマニアン教授、厚生労働省と WHO 神戸センターからも担当者をお招きして新潮流を学び、日本における適用可能性や課題について考えます。

【日 時】 2012 年 8 月 4 日(土) 10:00－16:40

【場 所】 ウィンクあいち(愛知県産業労働センター1102 会議室)

プログラム

- 10:00－ 開会のあいさつ 山内一信
(東海病院管理学研究会会長／医療法人 康誠会 東員病院・認知症疾患医療センター院長)
- 10:10－11:05 「社会環境と健康——これまでの研究動向」
SV Subramanian (Harvard School of Public Health, Professor)
- 11:10－12:05 「社会疫学の政策への応用の国際動向」
Ichiro Kawachi (Harvard School of Public Health, Professor)
- 12:10－13:10 ～ 昼休み ～
- 13:10－13:30 「健康政策の新たな展開—状況, 目標, 実施—」
松田亮三(立命館大学産業社会学部 教授／人間科学研究所所長)
- 13:30－13:50 「SDH (Social Determinants of Health) に関する WHO の動向」
岩田真紀代(厚生労働省大臣官房国際課)
- 13:50－14:10 ～ 休憩 ～
- 14:10－14:30 「なぜ、まちづくりによる介護予防を重視するのか」
大竹輝臣(厚生労働省老健局老人保健課介護保険データ分析室長)
- 14:30－14:50 「Urban HEART の紹介」
Amit Prasad (WHO 神戸センター テクニカルオフィサー)
- 14:50－15:10 「JAGES HEART の到達点と課題」
近藤克則(日本福祉大学社会福祉学部 教授／健康社会研究センター長)
- 15:10－15:30 ～ 休憩 ～
- 15:30－16:30 総合討論 コーディネーター：尾島俊之(浜松医科大学医学部 教授)
- 16:30－16:40 閉会のあいさつ 近藤克則

(終了後、会費制の懇親会を予定しています)

※報告タイトルが変更になる場合がありますので、ご了承ください

お問合せ先：日本福祉大学健康社会研究センター

Tel : 052-242-3074 Fax: 052-242-3076

担当：泉 <k-manami@n-fukushi.ac.jp>